



すいたみなみしょうがっこう

# 吹田南小学校だより

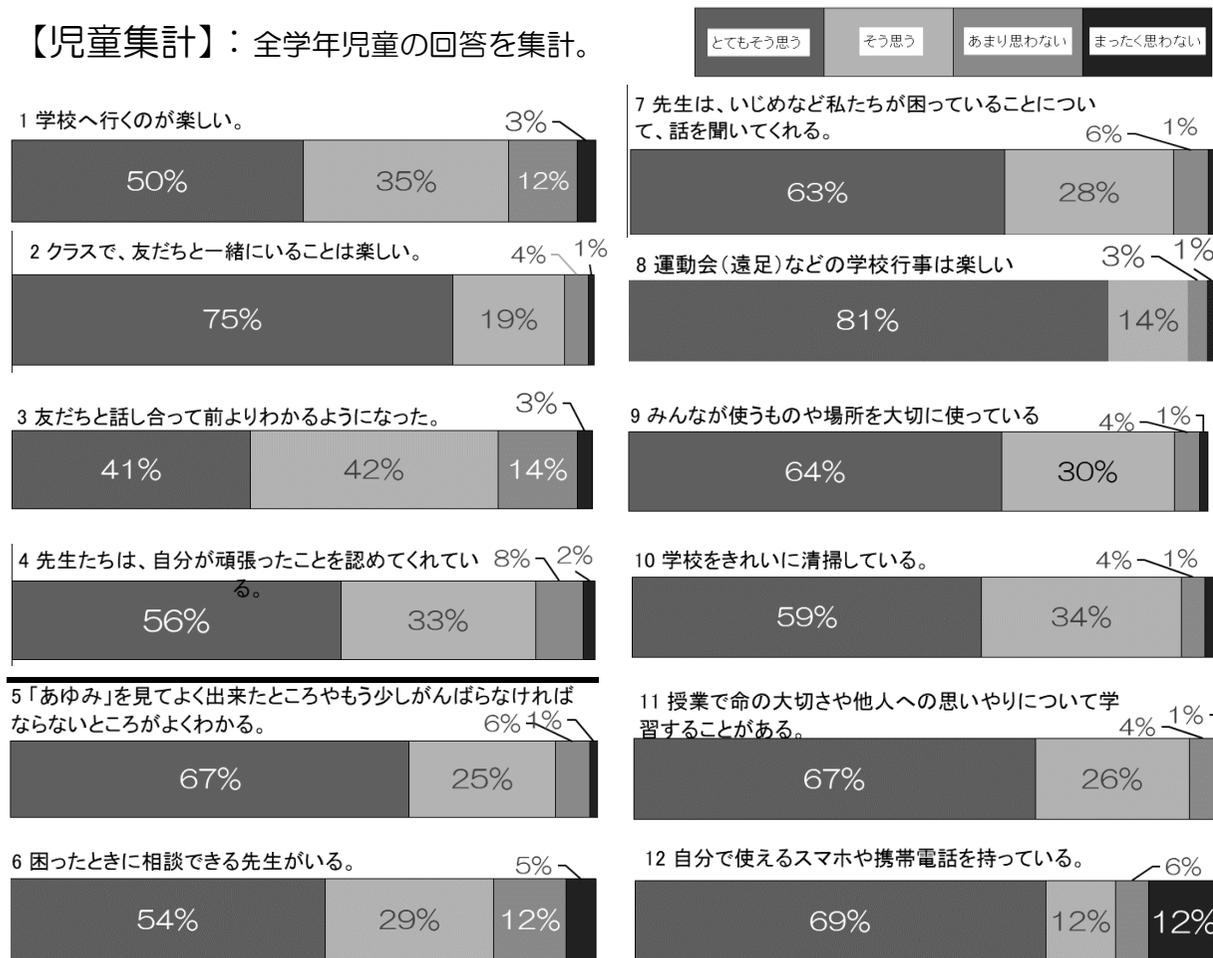
令和5年  
(2023年)  
学校アンケート号

学校教育目標 「つたえよう わたしの思い うけとめよう あなたの思い」

## 令和4年度学校アンケートのご回答ありがとうございました

過日実施いたしました「学校アンケート」に対しまして、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。今号では、いただいた回答の集計結果についてグラフで報告させていただくとともに、自由記述でいただいたご意見に、お答えさせていただきます。

### 【児童集計】：全学年児童の回答を集計。



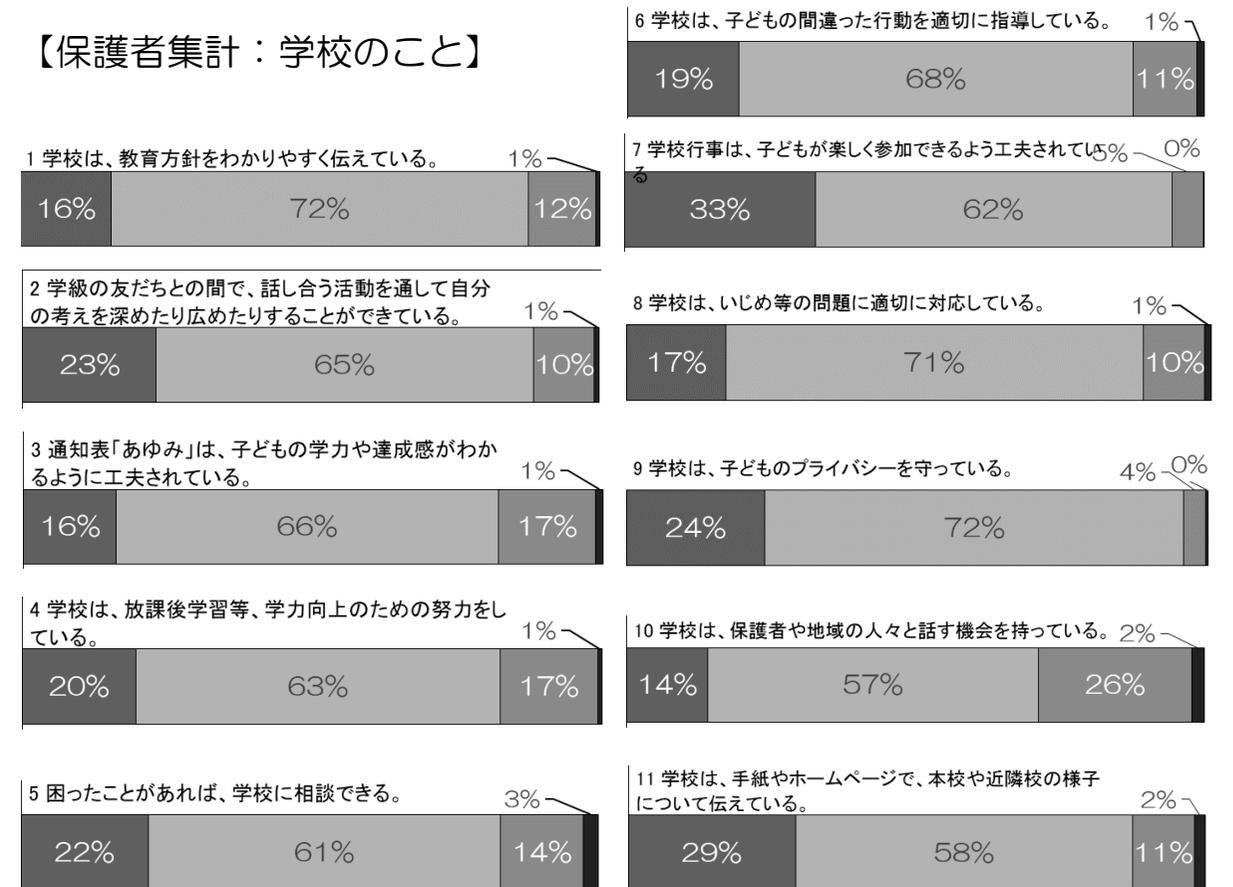
※割合は、各々四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります

「とてもそう思う」「そう思う」の2つを合わせた肯定的回答は、1～11のどの項目でも80%を超えました。中でも「2.クラスで、友だちと一緒にいることは楽しい」や「8.運動会(遠足)などの学校行事は楽しい」は特に肯定的であり、分散ではなくみんな揃って対面式で学べることや、コロナ禍で、規模の縮小や工夫があっても学校行事が楽しいことがわかります。

一方「1.学校に行くのが楽しい」の設問で、否定的な回答をした児童が15%いました。本来この項目は「0」であるべきもので、原因が学習のことなのか友人関係なのかを探っていかなければなりません。また同様に「6.困ったときに相談できる先生がいる」の項目も17%の児童が否定的回答をしています。全ての教職員がカウンセリングマインドを身につけること、また、先生への相談は複数選択肢があることを、児童に理解してもらうことが必要だと感じました。

自分で自由に使えるスマホや携帯電話の所持率は昨年より5ポイント増加し81%でした。それぞれのご家庭の事情によって、持たせる持たせないの対応は違うと思いますが、持たせる場合は、保護者の了承のもとで使用させていることとなりますので、使用に関して生じるあらゆるトラブルの責任は、ご家庭が負うこととなります。使い方についての話し合いはもちろん、その内容を把握しておくことも必要であることをお考えいただけたらと思います。

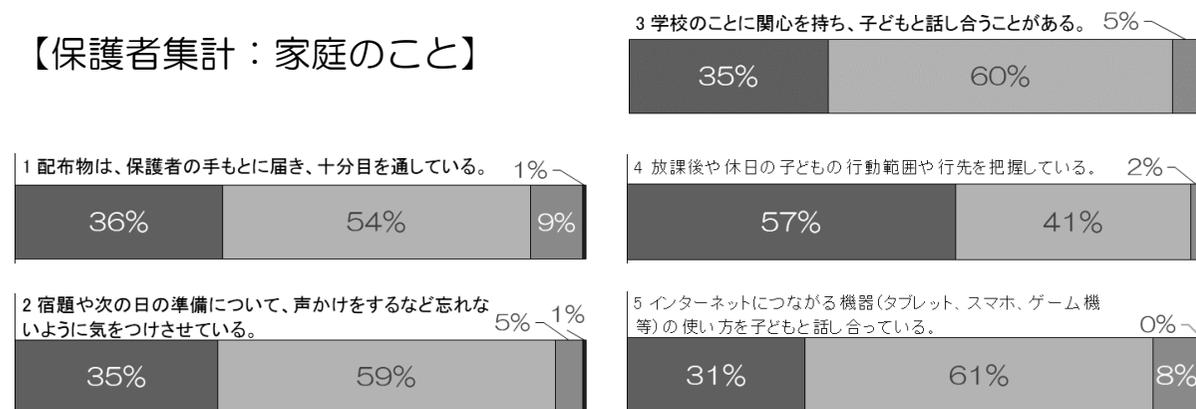
### 【保護者集計：学校のこと】



児童集計結果と同様に、ほとんどの項目で肯定的回答が80%を超えました。ただ、否定的回答の割合が一定数あるものとして「3.通知表『あゆみ』はわかるように工夫されている(18%)」「4.学力向上のための努力をしている(18%)」「5.困ったことがあれば学校に相談できる(17%)」がありました。学校生活に制限がかかっていることが原因となっている場合もありますが、これらについては適切な対応ができるように心がけていきたいと思ひます。「6.間違っ行動を適切に指導している(12%)」「8.いじめに適切に対応している(11%)」は、それぞれ2

ポイント減少し、生徒指導体制の整備が少し推進された結果と思われます。また、「10.保護者や地域のひとと話す機会を持っている（28%）」については、5ポイント減少し、令和4年度、参観や公開、個人懇談等がコロナ禍の制限の中ではありますが、概ね実施できた結果と思われます。

### 【保護者集計：家庭のこと】



【家庭のこと】では、家庭でのご対応が、おおむね適切になされていることがうかがえました。「5.インターネットにつながる機器の使い方を子どもと話し合っている」の肯定的回答は、昨年度と同じ92%でした。一人一台端末の持ち帰りにより、各家庭で、タブレットも含めた使い方やルールについての話し合いを進めていただいた結果と考えます。

### 【「ご意見」について】

自由記述でお書きいただいたご意見やご質問は、同じ内容について多くの方からいただいたご意見やご質問を中心にお答えさせていただきます。なお、全てのご意見にお答えすることは不可能ですので、お聞きになりたいことなどあればご連絡ください。

#### Q：感染症対策と、保護者参加行事の開催について

A：コロナ禍による制限のため、残念ながら学級懇談は開催を控えましたが、授業等の参観や公開、運動会や音楽会等の行事参観、2回の個人懇談は、工夫を講じることでほぼ予定通り子どもたちの活躍を参観していただいたり、お話ししたりすることができました。次年度は、5月に新型コロナが5類に引き下げになることを受けて、今年度より制限の少ない形で様々な行事を計画し、ご提案できるかと考えています。

#### Q：学校行事等のライブ・動画配信、オンライン授業について

A：学校での子どもたちの様子を、学校が、または、保護者のスマホ等で撮影し、ライブまたは動画の配信をすることは、吹田市の個人情報保護条例の観点から行うことはできませんので、ご了承ください。なお、一人一台端末を活用したオンライン授業は、その目的にのみ可能となっており、今年度、濃厚接触者となった自宅待機の期間等に、教科等は限られますが、多くの子どもたちが活用しました。

#### Q：欠席等の連絡について

A：令和5年度より、吹田市立の全小・中学校に、「さくら連絡網」というアプリが導入され、欠席、遅刻等の連絡は、これまでの「連絡帳または電話」から、主に「アプリ」による連絡に変更されます。詳細は、4月に、市教育委員会からの文書を配付いたしますので、登録等ご協力をお願いいたします。なお、アプリが導入されるまでは、これまで通り「連絡帳または電話」による連絡ですので、しばらくお待ち願います。

#### Q：配付物の電子化について

A：これまで、学校だより、全国学力学習状況調査の結果や学校アンケート結果、コロナに係る重要なお知らせ等は、紙面配付に加え、HPにPDFのリンクを貼っておりました。上記の「さくら連絡網」の導入を期に、配付物の電子化に取り組んでまいります。

#### Q：学校ブログについて

A：学校の様子や学校の話題を少しでもお伝えするため、学校ブログを、時々更新しております。お子様と一緒に見ていただき、ブログの話題をもとに、ご家庭でお話しいただけると、更に、学校や子どもたちの様子が伝わると考えています。

**吹田南小学校ブログ**

PCからは吹田南小学校HPにアクセスしてご覧ください。

#### Q：一人一台端末の持ち帰りについて

A：タブレットを持ち帰らせる重さの負担を軽減させるため、教科書等の一部を学校に置いて帰るようにしています。持ち帰ったタブレットは、宿題や家庭学習の際に活用していただけたらと思います。またタブレットを使用することに慣れさせていくとともに、大切な学習ツールを自身でも管理することも習慣づけてほしいと考えています。

#### Q：デジタル・シティズンシップ教育について

A：市内小・中学校では「情報技術の利用における適切で責任ある行動規範に必要な能力を身に付ける教育」を、全学年で行っています。令和4年3月開催の市民講演会『吹田の子供たちが学ぶ デジタル・シティズンシップ教育～学校・家庭・地域 みんなで善き使い手を育てるために～』の動画が吹田市立教育センターのHPに公開されています。

**デジタル・シティズンシップ教育**

吹田市立教育センターHPから動画のリンクが張られています。

#### Q：教職員の研究について

A：学校教育目標「つたえよう わたしの思い うけとめよう あなたの思い」を達成するために、令和3年度までも、ペアやグループでの学び合いの中で、聞き手に自分の考えや思いをわかりやすく伝える「話す力」、話し手の考えや思いを受け止める「聴く力」の醸成に取り組んできました。令和4年度より2年計画で、研究テーマを「伝え合う力を育み、自己表現できる子どもを育てる～一人残さず『わかった！』を実現する授業づくり～」として、更に、対話から生まれた学びを「書く力」にも取り組んでいます。